

予習・復習 IT用語

このコーナーでは、最新のものから昔から耳にしているものまで、IT関連用語を新旧取り混ぜてご紹介します。

Web 2.0

(ウェブにーてんぜろ、ウェブにーてんれい)

新しいウェブのあり方に関する
総称のこと

A

従来のWWWにおけるサービスやユーザー体験を超えた新しい発想に基づくWeb関連の技術や、Webサイト・サービスなどの総称のことです。「2.0」という表現はソフトウェアの大幅なバージョンアップになぞらえたもので、従来型WWWの延長ではない、質的な変化が起きているという意味を含めたものです。もともとはTim O'Reilly氏が唱えた概念とされていますが、その後多くの使い方がされており、人によって強調ポイントが異なるようです。

特定の技術やコンセプトがWeb 2.0な訳ではなく「次世代のWeb」を漠然と総称する言葉であり、明確な定義があるわけではありません。しかしながら、多くの人が合意するいくつかの概念があります。その最も大きな一つは、Webが一種のプラットフォーム(基盤)として位置づけられ、その上で情報や機能が製作者の手を離れて組み合わせられたり加工されたりするという点です。例としては、ユーザーによるレビューやユーザーによる評価がコンテンツの構築に貢献し、結果的にそれがサービスとして蓄積されていく例(AmazonのレビューやGoogleのPageRankなど)や、開発やコンテンツの制作などにユーザーが積極的に関わることによってサービスそのものを成立させる例(ブログやソーシャルネットワーキングサービス)などが挙げられます。

Web 2.0は、先進的なインターネットユーザーの共通の夢といってもいいものですが、概念が曖昧であるため混乱を招く恐れもあります。Web 2.0という用語の意味そのものよりも、その現象を理解していく事が重要といえるでしょう。

テキスト形式

純粋に文字のみで構成される
データのこと

A

テキスト形式とはレイアウト情報や修飾情報を持たない、純粋に文字のみで構成されるデータのことです。これをファイルとして保存したものを「テキストファイル」と呼び、「.txt」の形式で表されます。

テキスト形式はほとんどのOSやアプリケーションソフトで扱うことができますから、ワープロソフトなどは保存形式の一つとしてテキスト形式を選択できるようになっています。この場合、字飾りや文字の大きさなどを指定した修飾情報はすべて失われます。ワープロソフトはMSワードが広く使われていますが、官庁や企業の一部では一太郎などを標準のワープロソフトとしているところがあります。使用ソフトの違う相手と文書を交換する場合には、テキスト形式が使われます。また、「テキスト形式のメールで送ってください」と言われたなら、これは「HTML形式ではなくテキスト形式で」という意味です。HTML形式ではメールの文字に色をつけたり大きさを変えたり壁紙を設定したりできますが、HTML形式に対応していないメールソフトで受信した場合には正しく表示されません。

テキスト形式の長所は、ウイルスが入り込まないことです。ワープロ文書やHTML文書は、文書ファイル内にプログラムを組み込むことができます。このプログラムの中にウイルスが入り込むことがあります。自分のパソコンがウイルスに感染していることに気づかずに文書を発信すると、ウイルス配布の加害者となることがあります。ウイルス配布の危険を避けるために、レイアウトが重要でない文書の送信にはテキスト形式を使用しましょう。